

院内感染防止清掃マニュアル

- ・ 病院清掃は清潔で衛生的な環境を提供するために、埃のない日常的な清掃を行うことが基本である。病院内を清潔に保つことは、院内感染を予防するうえでとても重要である。
- ・ 病院を安全で過ごしやすい、きれいな建物にするために、院内スタッフと協力し感染管理を考えた病院清掃を行う。

1. 院内感染防止の基本的な考えについて

CDC（米国疾病管理予防センター）院内感染防止のためのガイドライン

『壁、床などの表面は通常細菌汚染があるものの、これら環境表面が患者や医療従事者への感染にかかわることはまれである。』『したがってこれら環境表面を消毒したり、滅菌する事はほとんど必要ない。しかし日常的に汚れを取ることが必要である。』

2. 良質な院内清掃を行うために

- ・ 清掃担当者の心がけること
 - ① 環境を清潔にしようとする意欲を持ち業務を行う
 - ② 清汚の区別ができる
 - ③ 作業に対する意欲がある
 - ④ 人との協調性がある
 - ⑤ 進んで実行する姿勢がある
 - ⑥ 基本的衛生事項を遵守する
 - ⑦ 手順を理解して守れる
 - ⑧ 自分自身の健康に注意する
 - ⑨ 手指に傷を作らない
 - ⑩ 爪は短く清潔にする
 - ⑪ ユニホームは清潔に保つ
 - ⑫ 靴を清潔に保つ（靴底は音をたてず滑らない材質とする）
 - ⑬ 作業中は必要に応じて手洗いをきちんとする
 - ⑭ 手袋を着用した、きやすさから汚い手袋であちこち触らない
 - ⑮ 汚染に気づいたら積極的に清浄化に努める
 - ⑯ 埃をなるべくたてないように清掃する。

してはいけない事	しなければならない事
1、臭くグレーになったモップの使用	1、モップは洗濯機で洗濯
2、モップを手で洗い、手で絞る	2、洗浄消毒できる掃除道具を使う事
3、素手での仕事	3、石鹼での適時の手指洗浄
4、消毒薬での床拭き	
5、床、天井、壁への消毒薬の噴霧	
6、血液、体液の直接的ふき取り	
7、1本のモップでの血液、体液の処理	

3. フロア（床）の清拭方法

清掃方法	用 具	注 意	効 果
湿式清拭	・水ごと吸引できる掃除機 ・ウエットモップ	・通常洗剤を使用、清掃後乾燥をさせる	・表面の汚れと細菌学的汚染を除去できる
乾式清拭	・高性能フィルター付き掃除機 ・ダストモップ	・簞は空気中に菌や埃を拡散させるので使用しない	・表面の汚れを除去できる

* オフロケーション方式（別の場所で処理する事）

使用して汚れたモップをその清拭場面ではすすがず、用意されたモップを次々と交換しながら清掃を行っていく方法。（常にきれいな水で拭く事になる）

* 消毒薬の使用について

日常の床清掃に消毒薬は必要ない。埃を立てないようにして湿式清掃を実施血液、体液、排泄物で汚染された床はただちに拭き取り、次亜塩素酸ナトリウム液（ハイター）で清拭する。

4. 情報の共有化

- ・ 日常の清掃において、看護部等と患者情報等の共有化を図り、清掃を行うこと。
- ・ 定期的に病院と清掃方法等の協議を行うこと。

5. 協力体制について

- ・ 院内スタッフと協力体制をとり、患者様に快適な療養環境を提供すること。

6. 研修の充実

- ・ 清掃作業員に対して、院内感染防止のために定期的な研修を行うこと。

7. その他

- ・ その他必要と認められた事項は協議する。